

おぢや

市議会だより



NO. 84

29.4.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



吉谷ESC (エンジョイスノークラブ)

ESC(エンジョイスノークラブ)は、吉谷小学校区の児童を対象に、平成18年に吉谷地区のクロスカントリースキー経験者有志が立ち上げたスポーツクラブです。クロスカントリースキーを中心とした秋季・冬季活動を通して、児童の体力の維持・向上と競技力の向上、そして、児童の心身の成長、会員間の親睦を図ることを目的とした活動を行っています。地域・保護者の皆さん、小学校の先生、コーチ等の協力があって、毎年楽しく、充実した活動を行っています。

- 第1回定例会議決結果… P2~3
- 常任委員会報告 …… P3~4
- 一般質問 …… P4~9
- 議会日誌 …… P10
- 雪あかり、編集後記 …… P10

—主な掲載内容—

この市議会だよりは再生紙を使用しています。

第1回定例会 議決結果 (3月2日から3月27日まで開催)

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第10号	小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定	全会一致	原案可決
	議案第11号	小千谷市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	〃	〃
	議案第12号	小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	〃	〃
	議案第13号	小千谷市課設置条例の一部改正	〃	〃
	議案第14号	小千谷市印鑑条例の一部改正	〃	〃
	議案第15号	小千谷市個人情報保護条例及び小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第16号	小千谷市税条例の一部改正	〃	〃
	議案第17号	小千谷市国民健康保険税条例の一部改正	〃	〃
	議案第18号	小千谷市スポーツ広場条例の一部改正	〃	〃
	議案第19号	小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正	〃	〃
	議案第20号	小千谷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正	〃	〃
	議案第21号	小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正	〃	〃
議案第22号	小千谷市ガス供給条例の一部改正	〃	〃	
予 算	議案第1号	平成29年度小千谷市一般会計予算	賛成多数	〃
	議案第2号	平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計予算	〃	〃
	議案第3号	平成29年度小千谷市介護保険特別会計予算	〃	〃
	議案第4号	平成29年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃
	議案第5号	平成29年度小千谷市工業団地事業特別会計予算	全会一致	〃
	議案第6号	平成29年度小千谷市ガス事業会計予算	〃	〃
	議案第7号	平成29年度小千谷市水道事業会計予算	〃	〃
	議案第8号	平成29年度小千谷市工業用水道事業会計予算	〃	〃
	議案第9号	平成29年度小千谷市下水道事業会計予算	〃	〃
	議案第23号	平成28年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)	〃	〃
	議案第24号	平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃
議案第25号	平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	〃	〃	
その他	議案第26号	小千谷市財政調整積立金の処分	〃	〃
	議案第27号	小千谷市営土地改良事業(災害復旧)の施行	〃	〃
	議案第28号	小千谷市教育委員会委員の任命〔和田正樹氏〕	〃	同意
	議案第29号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任〔本田 毅氏〕	〃	〃
請 願	請願第1号	再生可能エネルギーの普及促進に向けた環境整備を求める請願	みなし	不採択
	請願第2号	給付型奨学金制度改善に関する請願	賛成少数	不採択
発 議	発議案第1号	小千谷市議会委員会条例の一部改正	全会一致	原案可決
	発議案第2号	再生可能エネルギー普及促進に向けた環境整備に関する意見書	賛成少数	否 決

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって不採択されたものとみなします。

議員賛否の状況 （採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中淳	本田剛	久保田久栄	風間順一
議案第1号	原案可決	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第2号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第3号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第4号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○
請願第2号	不採択	3	12	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	-	×
発議案第2号	否決	7	8	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	○	-	×

※ ○は賛成、×は反対、議長(久保田久栄)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案16件を慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願2件について、1件は採択すべきものと決し、1件は採択しないものと決しました。

○議案第10号 小千谷市一般職の任期付職員に関する条例の制定について

本案は、「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」に基づき、職員の任期を定めた採用等に関し必要な事項を定めるものです。

○議案第11号 小千谷市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について

本案は、地方公務員法の規定に基づく職員の配偶者同行休業に関し必要な事項を定めるものです。

○議案第12号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
 本案は、議案第10号及び議案第11号の条例制定に伴い、関連する5条例を一括して改正する

○議案第13号 小千谷市課設置条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、第五次小千谷市総合計画における基本目標の達成及び重点プロジェクトを推進・加速するため行政組織の一部を変更するものです。

○議案第14号 小千谷市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、印鑑登録事項及び証明事項の性別を削除するための改正です。

○議案第15号 小千谷市個人情報保護条例及び小千谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、番号法の規定に基づき、関連する2つの条例について改正するものです。

○議案第16号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、市民税の申告において、特定非営利活動に関する寄附金税額控除を受けようとする場合の申告方法を改正するものです。

○議案第18号 小千谷市スポーツ広場条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、片貝スポーツ広場のスポーツセンターを廃止することに伴い一部を改正するものです。

○議案第21号 小千谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、一般廃棄物処理手数料のうち、し尿収集運搬手数料の一部を改正するものです。

○議案第22号 小千谷市ガス供給条例の一部を改正する条例の制定について
 本案は、ガス料金の基準単位数の改定、調整単価、基準平均原料価格及び平均原料価格上限値を併せて改正するものです。

○議案第23号 平成28年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)について
 今回の補正は、歳入歳出それぞれ756万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ198億3339万円とするものです。

○議案第1号 平成29年度小千谷市一般会計予算について
 本案は前年度と比較して10.5%の減額で歳入歳出それぞれ172億8千万円とするものです。

す。

○議案第6号 平成29年度小千谷市ガス事業会計予算について

ガスの年間供給量は前年度と比較して3・4%の減。収益的収入及び支出の収支差額は6406万8千円の赤字計上であります。

○議案第7号 平成29年度小千谷市水道事業会計予算について

年間総給水量は、前年度と比較してほぼ同量。収益的収入及び支出の収支差引額は9592万9千円を見込んでおります。

○議案第8号 平成29年度小千谷市工業用水道事業会計予算について

年間総給水量は、前年度と比較して7・8%の減。収益的収入及び支出の収支差引額は、1088万4千円を見込んでおります。

○議案第9号 平成29年度小千谷市下水道事業会計予算について

年間総排水量は、前年度と比較して0・6%の減。収益的収入及び支出の収支差引差額は4億6313万円を見込んでおります。

○請願第1号 再生可能エネルギーの普及促進に向けた環境整備を求める請願について

再生可能エネルギー政策は重

要なもので、採択すべきと決しました。

○請願第2号 給付型奨学金制度改善に関する請願について

採択の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案9件について、慎重に審査した結果、議案9件全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第17号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国民健康保険給付準備基金残額の調整を目的として、27年度及び28年度に実施した基礎課税額に係る世帯別平等割額の減額措置を平成29年度においても継続するための条例改正です。

○議案第19号 小千谷市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、対象の子どもについても「乳児」と「児童」に分けて定義していたものを、「子ども」として一体化し整理することにより、条例施行規則で定める受

給者証有効期限の統一化を行い、受給者の手続きの簡素化を図ることを目的として改正するものです。

○議案第20号 小千谷市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、地域包括支援センターの職員数の基準について、介護保険法施行規則で定める基準を明記し、予定する平成29年度からの増員に対応すること、また、主任介護支援専門員の定義の修正を目的として改正するものです。

○議案第24号 平成28年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

本案は、国民健康保険基盤安定負担金において、基本見込額の増高により一般会計予算の国県負担金が増額となったことから、歳入において一般会計繰入金を増額補正し、歳出において、保険給付費で充当財源の組み替えを行い、当該額を給付準備基金に積立するものです。

○議案第25号 平成28年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)について

本案は、平成28年度当初予算

で設定した、地域包括支援センター運営委託の債務負担行為の限度額を、委託人員の増に伴い変更するものです。

○議案第2号 平成29年度小千谷市国民健康保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して3・9%減の、歳入歳出の総額を40億8156万1千円とするものです。

○議案第3号 平成29年度小千谷市介護保険特別会計予算について

本案は、前年度と比較して0・3%増の、歳入歳出の総額を39億5486万9千円とするものです。

○議案第4号 平成29年度小千谷市後期高齢者医療特別会計予算について

本案は、前年度と比較して0・5%増の、歳入歳出の総額を7億3245万4千円とするものです。

○議案第5号 平成29年度小千谷市工業団地事業特別会計予算について

本案は、工業団地造成事業費で2億4802万円増の、歳入歳出の総額を2億5359万1千円とするものです。

市政の内容を聞く

一般質問

医療費助成就学援助、 免許返納等

内山 博志 議員

質問 妊産婦及び高校卒業まで医療費助成の考えはあるか。

答弁 妊産婦は平成30年実施に向け検討を進めている。子ども

の医療費助成は全国一律の助成が受けられるよう要請していく。また、県の動向等を見ながら検討していく。

質問 当市も就学援助で新年度から中学入学準備時に支給されることは喜ばしい。小学校入学も間に合うようにできないか。

教育長答弁 県内では実績がない。現段階では現行どおりと考える。県内などの動きを見定めていきたい。

質問 保育料の軽減条件を多子世帯の場合、上の子が義務教育終了までとできないか。

答弁 平成29年度に低所得世帯を中心とした階層の保育料引き

下げを予定し、支援を拡大している。今では緩和を考えていない。

質問 在宅介護者の支援拡充についてどう考えるか。

答弁 県内でも当市の助成額は最高ランクと考えており拡充は考えていない。

質問 運転免許証返納と高齢者の移動手段について、公共交通だけではきめ細やかにできない。対応が必要ではないか。

答弁 返納に対する特典は導入せず、本人の判断に任せる。高齢者の移動手段については、新病院開院に合わせて市内の公共交通網の見直しを行った。循環バスを利用してほしい。

質問 民生児童委員への手当支給の考えは。

答弁 県から実費が「活動費」として支給されている。民生委員法により給与を支給しないことになっている。



小千谷市公共建築物の設計入札について

本田 剛 議員

質問 当市の設計入札は最低制限価格がない。当市で入札をかける物件は、独自で事前に最低価格を定めるが、工事設計料を決める際に、新潟県、他市町村の価格を参考に最低価格を定められないのか。落札後に再入札させ更に安価な価格で契約している。また、落札出来なかった業者には連絡もないのが現状である。

答弁 随意契約による発注方法が通例。複数の業者から見積書を徴し、最低見積者から再度見積書を徴して、その価格に基づき契約している。また、業務量や規模・特殊性を考慮し、外部委託することが効率的かつ合理的の場合には委託する。見積り合わせの結果については、最低価格を提示した業者以外には特に連絡しない取り扱いをしている。

質問 設計入札参加者は、ほぼ市外からの業者であり落札業者も市外業者が多い。他市町村で市外の業者は原則入札を受けない地域もある。特殊な公共

事業は別として当市の公共施設建設は当市の設計業者、施工業者管理業者に出来ないのか。設計の質の向上や若い技術者の育成などを考え、地元業者のことを鑑みて入札参加の見直しをしてはどうか。

答弁 「小千谷市建設コンサルタント等入札参加資格審査規程」により審査し、結果に基づく資格の有無を申請業者に通知している。入札参加資格登録業者を市内に限定した場合、数が限られていない。要件を満たす業者がない場合もあるので市内業者に限定することはできない。

学校給食センター業務の委託計画

佐藤 隆一 議員

質問 小千谷市は、第五次総合計画で「人を育み文化の香るまちづくり」を基本目標1に掲げています。学校給食をどのような位置づけていますか。

教育長答弁 学校給食は、子どもが生きる力を育み、食について考える重要な場であると考えます。

質問 小千谷市の学校給食は、

メニューで最優秀賞も受賞し、給食センターは全て手作りで給食を提供しています。なぜ委託なのでしょう。

教育長答弁 大変優れた職場と考えておりますが、民間は、マンパワーの活用によって、マンパワーにおける効率性を考えて検討しました。

質問 これまで何かトラブルや課題でもあったのでしょうか。

教育長答弁 特に問題があったわけではありません。

質問 小千谷市はどのような委託を考えているのでしょうか。

教育長答弁 平成30年度に向けて、委託方式を含めて検討中です。

質問 給食センターでは、調理員が調理と配送まで行う効率的な運営を行っていると言いますが。

教育長答弁 今回の委託は、全面委託ではありません。メニュー作りなど、食育についての責任は小千谷市が負うものです。

質問 給食センター業務は、栄養教諭（県職員）と調理員（市職員）の連携作業です。食の安心・安全が脅かされるなかで、委託に伴う不安はないのですか。

教育長答弁 献立及び食材の発注は栄養教諭が行い、小千谷市

の責任で調理するのでこれまでと同様に問題はありません。



小千谷市給食センター

新病院・福祉・禁煙・交通拠点整備

長谷川有理 議員

質問 新病院25診療科の内、常勤医師確保6診療科のみだが。

答弁 地方における医師不足が原因。今後も医師確保をお願いしていく。

質問 初年度3億7千万拠出するが、運営補助金の10年10億円の枠は変わらないのか。

答弁 現時点では変化はない。他の制度での補助は別枠。

質問 小千谷病院跡地開発がすすぐに進まない以上、魚沼病院跡地についても公共施設等総合管

理計画を踏まえて市として調整・検討・働きかけをすべき。

答弁 厚生連の方針をうかがいながら、検討したい。市にメリッ トがあれば前向ききたい。

質問 要支援者へのタクシー券 廃止にともなう代替施策を。

答弁 公共交通機関の整備が整 わない地域があることは承知。 代替を約束はできないが、移動 支援対策に努めていきたい。

質問 ひきこもり支援対策を。

答弁 27年度報告数は26人で40 歳未満が7割。相談支援事業所 と連携して対応。健康センター で家族の集いを開催し支援。

質問 公共施設の禁煙・分煙実 施率を市の目標通りの100% に。

答弁 現在92・4%。努力した い。

質問 小千谷駅・小千谷インター 駐車場の今後の整備計画は。

答弁 現在無料の駅北駐車場は 将来的にゲート方式の有料化を 計画したい。インター駐車場は 調査測量を終え、29年度は協議 に向けた設計図書の作成を行う。

質問 交通拠点の駐車場整備に ついて、意見募集や市民アンケ ー トなどで広く市民の意見を聞く べき。

答弁 現在のところ、市民アン ケー トを行う予定はない。



期待される新病院

無電柱化について

佐藤 栄作 議員

質問 無電柱化の事業費の負担 割合について。

答弁 国内各地で実施されてい る無電柱化事業の多くは電線共 同溝ですが、国土交通省が公表 している事業費の負担例では、 道路管理者が負担する共同溝工 事費が1kmあたり約3億3千万 円、電線管理者が負担するケー ブル・地上器などの設備費が1 kmあたり約2億3千万円となっ ています。国の交付金事業が採 択された場合、補助対象事業費 の約50%が補助される制度であ ります。

質問 市役所周辺と国県道の無 電柱化について。

答弁 無電柱化にはいくつかの 利点があるが、わずかな区間で あっても膨大な事業費を要する ことから、当市が事業主体となっ て市道の無電柱化を実施する計 画はありません。国県道につい ても無電柱化の予定は伺ってお りません。

質問 東小千谷地区宅地造成事 業の無電柱化について。

答弁 宅地開発に関して土地開 発公社においても無電柱化は予 定されていません。

質問 工業団地造成事業におけ る無電柱化について。

答弁 工業団地につきましても 造成事業にかかった費用は、分 譲価格に反映しますので、多額 な費用がかかる無電柱化は予定 しておりません。



中山間地域の市政に ついて

駒井 和彦 議員

質問 世帯数がなくなった、あ るいはなくなる可能性のある集 落の現状及び今後への素直な見 解、地域として存続を図ること 等を目的とした道路修繕や環境 整備について。

答弁 町内において優先順位等 合意形成が図られることを前提 として、見込まれる交通需要等 を踏まえ必要性を検討する。

質問 田園回帰志向の高まりを どう捉え、市政、特に人口減少 対策にどう活かしていくか。

答弁 志向の高まりについては 地域おこし協力隊員の活躍など で承知している。今後も総合計 画等に掲げる施策の推進や、地 域おこし協力隊員を起爆剤とし た地域活性化に取り組む。

質問 小さな拠点と地域運営組 織、その構築への取り組みの現 状と今後について。

答弁 今後の地域の在り方を検 討していく中で、その手法の一 つとして、行政と連携して取り 組む組織構築も含め、検討して いく。

質問 観光交流課の人員体制に ついて。

答弁 限られた職員数の中で、 業務量により適正に対応してい く予定である。一時的なイベン ト等には職員間の応援体制を強 化し、適切に対応していく。

質問 市民協働センターの設立 目的や方向性に変更はないか、 また、設置場所等検討段階での 内容について。

答弁 市民と行政を繋ぎ、市民 の活躍をサポートする中間支援 組織として設置することに変更 はない。設置場所や人員体制に ついては、新年度において、基 本的な考え方をまとめていく予 定である。



岩沢外之沢の棚田

空き家対策・高齢者 対策・図書館の充実

住安 康一 議員

質問 空家等対策計画の策定について。

答弁 建築・法務の専門家や住民代表者等で組織する空家等対策協議会を設置し、意見を伺いながら、空家等対策計画の策定の検討を含め、取り組みを進める。

質問 空き店舗の活用推進のための家賃補助と空き家バンクへの登録について。

答弁 貸す側の家賃設定の高止まりを招く恐れがある。また、補助期間終了後には借り手側の負担が大きくなるなどの問題がある。空き家バンクへの空き店舗登録はしない。

質問 生活支援コーディネーターは、シルバー人材センターやあちこたネットおぢや、町内会のいきいきサロンなど様々な関係する団体等と、どのように関わっていくのか。研修はどのように行う予定なのか。

答弁 既存事業と連携しながら、更なる活性化と必要のあるサービスの立ち上げについて地域の

人達と協力する。研修は県やさわやか福祉財団等の協力を得て開催。コーディネーター同士の検討会を開催する。

質問 生活支援・介護予防サービスの

ビスの担い手の育成について。

答弁 最重要課題であり、元氣な高齢者の活躍がカギとなる。

県の研修を有効活用する。

質問 ボランティア人数の増加

や生きがいをつくるため、地域福祉の担い手の養成のためにも地域貢献にポイントを与える事業を検討すべきと考えるが。

答弁 支え合い活動や有償ボランティアを進めていく中で、研究する。

質問 図書館のビジネス支援は。

教育長答弁 専門機関に委ねる。



高齢者の暮らしやすい街を

消防力・地域包括ケア 空き家対策について

久保田陽一 議員

質問 準防火地域内の昭和61年

4月以前に建てられた建物の数と場所を把握すべきでは。

答弁 現在、準防火地域内の既

存不適合の建物の状況を把握していないが、住宅密集地における火災対策を考えるうえで重要な情報となるので、把握するよう検討する。

質問 小千谷市でも大規模火災が起こった場合、広域的な連携・協力が得られるのか。

答弁 全国規模では緊急消防援助隊の要請、県では広域消防相互応援協定、中越地区では中部

消防相互応援協定があり、長岡市と独自に長岡市消防本部と小千谷市消防本部の消防相互応援に関する覚書を締結しており、持てる消防力の範囲を超えた大規模火災を含めた災害等に備え、相互の連携強化を図っている。

質問 消防署員の計画的な人員

の補充及び増員が必要では。

答弁 現在消防本部の実員は61

名。計画的に人員の確保を図る。**質問** 在宅医療・介護の進展や

継続は可能なのか。新病院はどのように関わってくるのか。

答弁 国は地域包括ケアシステムを機能させるために在宅医療推進センターの整備を推進している。小千谷市と旧川口町を所管する地域医師会では厚生連小千谷総合病院と連携して、在宅医療推進センターの検討を進めていく予定と聞いている。したがって在宅医療推進センターが設置されると地域包括ケア推進の中核になると期待している。

質問 空家等対策協議会とは。

答弁 市長の諮問機関として建築、法務の専門家等により構成し、特定空家等の認定や空家等対策計画の作成等を行う。

地方創生総合戦略の 推進について

山賀 一雄 議員

質問 国の総合戦略の基本目標をどのように考えているのか。

答弁 国の改訂版で定めた政策パッケージ4項目については、従前の基本目標とほぼ変更がないので、当市で策定した総合戦略4つの基本目標に沿って、さらに事業推進すべきと考えている。

質問 市は、総合戦略の事業を推進するため、どのような取り組み体制を考えているのか。

答弁 平成27年度策定した市の総合戦略については、「産学官金労」による策定体制で取り組んでおり、小千谷市総合計画と合わせ、組織の枠組みを維持しながら、PDCAサイクルにより検証する体制で進行管理をしている。

質問 総合戦略事業を実施するための職員研修をどのように考えているのか。

答弁 総合戦略はもとより、地方分権・少子高齢化社会を迎え、職員は自ら地域の課題を発見し、解決していく能力が求められているので、これらを題材とした

市独自の職場内研修やスキルアップ講座などを実施し、職員の資質向上に努めてまいりたい。

質問 国の基本方針改訂版に対応する事業申請について、不都合はないのか。

答弁 平成28年度から「地域再生法」による支援となり、国の政策パッケージに沿った事業でなければならず、地方の特徴的
事業や自由裁量が発揮しづらい環境であることは、制度全体の課題であると考えているが、利用できる制度が続く限り、有利な財源を活用しつつ最大の効果を得るように取り組んでいく。

農業問題と働き方改革について

阿部 正行 議員

農業問題について

質問 農業の現状と役割は。

答弁 食料生産という大事な役割の他、国土保全等、人の社会生活を営む上で大変重要な産業であるが、多くは副業的な経営で、今後は基盤整備や農地集積、付加価値等に努める。

質問 農業経営の強化について。

答弁 魚沼産コシヒカリを中心

に作付されているが、今後は多品種化への誘導や酒米・輸出米・贈答品への取組、園芸の強化等関係機関と連携し強化したい。

質問 集落営農について。

答弁 農機の共同化等営農の組織化を支援していきたい。

質問 担い手の育成について。

答弁 担い手育成総合支援協議会を作り、認定農業者への指導、法人化等持続可能な経営を支援していきたい。

質問 農業再生協議会について。

答弁 県の動向を見極めJAと協議する。

質問 農業団体との連携は。

答弁 市長の諮問機関として農業創出委員会で議論を重ね、各団体と連携し持続発展できるように努める。

働き方改革について

質問 この問題の認識と国の動きについて。

答弁 人口減少が進む中で、働き方改革で生産性の向上をはかり、誰でも安心して生活できるようにすることが重要である。

質問 市民への周知は。

答弁 国の実行計画に基づき、啓発に努める。

質問 これからの社会形成について。

答弁 これからは仕事との調和

を図り、豊かな生活実現を目指して環境整備に努めたい。

小千谷市の観光事業と総合事業について

田中 淳 議員

質問 全国闘牛サミットに向けた闘牛場の施設整備について。

答弁 国の交付金や補助金を活用しながら年次的に計画をしている。なお、トイレのバリアフリー化以外には、車いす観戦席の増築や駐車場舗装工事・音響設備改修など、受け入れ態勢を整える予定です。

また、外国人対応については、平成29年度には通訳用送受信機を購入し、リアルタイムで牛の迫力と勢子の技を伝える予定であり、案内看板や場内表示の多言語化についても整備する予定です。

質問 今年度から新たに始まる、総合支援事業について、事業の狙いと効果、検証について。

答弁 簡便な方法で対象者を選定し早期支援を開始することやサービスの選択肢を広げることや介護予防を強化し、自立支援を推進していくことで要介護への

移行を減らしてゆくことを狙いとしており、結果的に介護保険給付費の抑制が見込まれると考える。

介護予防の評価として、要介護認定率の減少、要介護認定者の維持・改善状況、総合事業対象者の実態把握、給付費の減少等により検証していきたいと考えている。

質問 総合事業のサービスA、サービスBでの空白地域の対策についての考えは。

答弁 サービスAの訪問型、通所型、事業については全市を網羅していると考えているが、サービスB型の訪問型は、市全体をカバーする状況になっていないため、平成29年度から配置する生活支援コーディネーターと共に、市全域でサービスを利用できる体制づくりを進めていきたい。

スポーツ・名匠塾・病児保育について

森本恵理子 議員

冬のスポーツについて

質問 手軽に楽しめるスノーシューは交流促進の手段且つ市民の健康増進目的においても有効であると考えている。地域活性化の観点からも大会開催を含め、更なる普及促進を図るべきでは。

教育長答弁 今後も用具の貸出しや体験教室を開催する。大会については普及後、ニーズを把握する。

質問 幼少期のアルペンスキーの経験は大切と考えるが、中学校の体育での今後の展開は。

教育長答弁 スキー授業の有無、アルペンスキーの導入は学校の判断による。

質問 授業に使用するスキー用具は二校を除き自己負担である。使用頻度は少ないが、サイズ変更による経済的負担が大きい。学校備品として整備することを含め、市が主体性をもって対策を講ずるべきでは。

教育長答弁 学校の判断に任せ

質問 教員の異動もあり学校主





病児保育開設を！

体は難しい現状である。リサイクルできるようにシステム作りを検討していただきたい。

教育長答弁 学校とPTAに委ねる。

テクノ小千谷名匠塾について

質問 テクノ小千谷名匠塾が果たす機能と今後の支援について。

答弁 小千谷の技術レベルを高水準のまま維持するための中心的な技術者養成の場である。来年度も引き続き支援していく。

病児保育について

質問 昨年6月の一般質問において病児保育導入について質問したが、その後の進展は。来年度からの3か年計画に記載があるが29年度の予定は。

答弁 開始時期や運営方法について現段階では未定であるが、候補地の選定を進め、できるかぎり早く開設する。

市議会を傍聴してみませんか

第1回臨時会開催予定

5月10日(水)

第2回定例会開催予定

- 6月2日(金) 第1日 議案上程説明
- 6月5日(月)～7日(水) 各常任委員会で審査
- 6月20日(火) 第2日 一般質問
- 6月21日(水) 予備日 一般質問
(質問者が多い場合に開催)
- 6月23日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(☎83-3505)へお問い合わせください。

委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。

本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。

(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

(平成29年第1回定例会の会議録掲載は、5月末頃となります。)

一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



このシステムでは、平成15年の月1回時の会議録がご覧いただけます。

議会日誌

1月～3月

〈1月〉

- 6日 議会報編集委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 20日 議員協議会
- ” 議員全員協議会
- ” 厚生連小千谷総合病院視察
- 27日 議会報編集委員会
- ” 議会運営委員会
- ” 議会協議会
- ” 議員協議会

〈2月〉

- 3日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会(東京都)
- 7日 茶郷川河川改修促進検討委員会
- 8日 県市議会議長会春季定期総会(小千谷市)
- 9日 総務文教委員施設見学(消防本部)
- 16日 議員協議会
- ” 国営信濃川左岸流域土地改良事業説明会
- ” 議会改革検討委員会
- 24日 議会運営委員会

〈3月〉

- 2日 第1回定例会(本会議)
- ” 議会報編集委員会
- 6日 常任委員会連合審査会
- 7日 常任委員会連合審査会
- 8日 常任委員会連合審査会
- 9日 総務文教委員会

- ” 総務文教委員協議会
- 13日 民生産業委員会
- ” 議会改革検討委員会
- 22日 議会運営委員会
- ” 本会議(第2日)
- 23日 本会議(第3日)
- ” 議会報編集委員会
- ” 議会運営委員会
- 27日 議会運営委員会
- ” 本会議(第4日)
- ” 議員協議会
- ” 議員協議会



県市議会議長会春季定期総会(小千谷市)



66



金子 友弥(片貝五之町)

ほくと小中学校時代の同級生

数名で、片貝の魅力を多くのひとに届けるべく立ち上げた「鉾とスコップ」という団体は2015年に発足し、同年末に開催したオープンングパーティーにて活動開始を町民のみなさまに報告させていただいた。

パーティーには片貝町民を中心に20名ほどご来場いただいたのだが、その中に見覚えのない青年がひとり。見たところ20歳そこそこの若者で挙動の不審さから一発で『よそ者』だと気づき、話を聴くとどうやらその子の母親が片貝出身の方でもともとと片貝という町に興味があり、フェイスブックを見て駆けつけてくれたのだという。

その出会い以降、彼はほくら

がイベントを開催することに参加してくれて、徐々に片貝という特殊な町になじんでいった。出会って半年ほど経った頃、彼と同年の同級会に彼を紹介したところ、同級会の方々は快く受け入れてくれた。彼の人懐っこさからすぐに打ち解け片貝まつりを成人として経験。片貝の魅力にどっぷりとハマってしまったらしくこの春から、新設された片貝地区の地域おこし協力隊として活動していく。



編集後記

新年度が始まり、雪国小千谷もようやく春らしい4月を迎えています。新生活にわくわくした日々をお過ごしの方もいれば、2017年はもう3分の1が経ってしまったと月日の速さに驚く方もおられるかもしれませんね。

この2年間、左記のチームで議会だよりの編集を行いました。

その間、議会だよりにおいて議案の議決結果のほか、賛否の分かれた議案について議員賛否の状況を記載し公表。議会だよりの表紙に小千谷の未来を担う子どもたちを起用し、編集後記を署名化するなど、市民の皆様にはわかりやすく、また市民と議会のかけはしとしての市議会だよりになるよう努めてまいりました。次号からは新しい編集委員での議会だよりの発行となります。

ぜひ、今後とも、ご意見・ご感想をお寄せください。

- 編集委員長 長谷川 有理
- 副編集委員長 久保田 陽一
- 編集委員 森本 恵理子
- 編集委員 住安 康一
- 編集委員 大矢 弘光
- 編集委員 佐藤 栄作
- 編集委員 内山 博志
- (編集委員は議席番号順)
- 編集委員長 長谷川 有理